

件 名

平成26年度上尾市教育センター教育相談（不登校）の状況について

内 容 説 明

1 不登校に関する相談

平成26年度の教育相談延べ回数は6,483回である。そのうち小学生は2,259回（不登校1,052、性格行動430、学習発達548、その他229）であり、中学生は3,900回（不登校2,539、性格行動781、学習発達374、その他206）であった。その他（幼保・小・中以外）は、61回である。

不登校に関する相談は、教育相談延べ回数の約5割を超えており、昨年度と比較すると443回増えている。不登校に関する相談の多くは、適応指導教室に通っている児童生徒の相談（通所）延べ回数であり、教育センターへ通う児童生徒の数が増えたことから、相談回数の増加につながっている。不登校で相談に来る児童生徒の多くは、自身の性格・行動の影響で集団生活に適応できない状況に陥っていたり、学習・発達の影響で学級への所属感が得られなかったりすることが原因で、さらに学校に復帰できない状況が継続していることが伺える。

現在、上尾市内小中学校には、未だに多くの不登校児童生徒がいるが、学校復帰を目指すために、まずは教育センターに通わせる手だてを講じる必要がある。そこで、学校との連携を図り、さわやか相談室相談員やスクールソーシャルワーカー等を積極的に活用することで学校復帰・学級復帰を目指している。

教育センターに通っている児童生徒については、相談員による個別対応、適応指導教室による小集団での学習を継続して学校復帰を目指してきた。一時的に学校復帰を果たしても、再び登校しづりや不登校状態となることも考えられるため、より一層各学校との連携を強化するとともに、学校復帰後の支援体制の構築を図ることが重要である。

2 不登校の改善状況

平成26年度、教育センターに通級（個別指導）、又は、適応指導教室において学校復帰を図ってきた不登校児童生徒は36名（小1名・中35名）であった。このうち、約70%にあたる25名が学校復帰（さわやか相談室登校含む）し、10名が教育センターに通級及び断続的な登校ができた。この結果から、教育センターでの取組が、不登校児童生徒の学校復帰への支援となったものとして考えられる。

3 不登校改善に向けて

平成23年度から、スーパーバイザー（聖学院大学 山田 麻有美 教授）を迎え、年3回の研修会を実施してきた。平成26年度も、教育センターでの相談を継続している児童生徒の事例を取り上げ、上尾市教育センターにおける教育相談体制強化を図るための指導及び助言をいただき、教育センター相談員・指導員の資質の向上を図ってきた。また、スクールソーシャルワーカーにより、学校及び関係機関との連携を図り、保護者への家庭訪問を継続するなどの具体的な対応を図ってきた。その結果、学校復帰や教育センターに繋がった。

本年度もさらに、学校訪問（さわやか相談室）を含め、さわやか相談室と密に連携を取りながら、不登校及び不登校傾向にある児童生徒の状況を把握することで具体的な対応に繋げ、各学校との連携を図りながら不登校の減少を目指す。

添付資料	添付資料名
<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	(1) 平成26年度 上尾市教育センター教育相談回数【22ページ】 (2) 平成27年度 上尾市教育センター非常勤職員の配置について【23ページ】 (3) 上尾市立小・中学校の不登校児童生徒数及び不登校の割合【24ページ】

平成26年度 上尾市教育センター教育相談回数

平成26年度

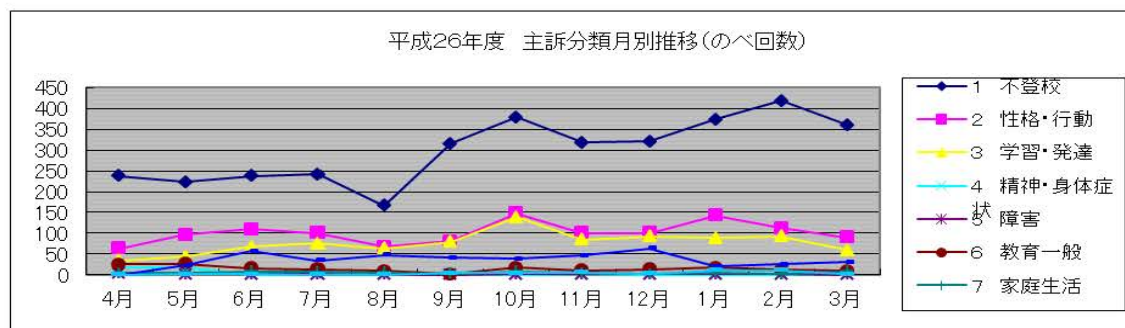
主訴分類月別推移表(延べ回数)

単位:回

主訴分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1 不登校	237	223	237	242	167	316	379	318	321	373	418	360	3591
2 性格・行動	64	96	110	101	68	81	148	100	100	143	112	90	1213
3 学習・発達	35	44	68	75	64	79	139	85	93	89	92	59	922
4 精神・身体症状	17	18	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	36
5 障害	4	2	1	1	0	0	1	1	1	1	2	0	14
6 教育一般	26	27	16	14	10	1	18	11	13	18	12	9	175
7 家庭生活	4	6	8	7	5	3	8	4	1	4	2	8	60
8 就学	0	23	57	35	48	41	39	47	64	20	25	31	430
9 いじめ	0	1	2	0	0	4	4	5	3	11	11	1	42
合計	387	440	499	475	362	525	736	572	596	659	674	558	6483

平成25年度

主訴分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1 不登校	151	196	253	234	124	255	293	362	319	337	334	290	3148
2 性格・行動	62	91	104	89	69	84	162	149	131	126	184	115	1366
3 学習・発達	39	41	76	71	57	59	91	82	49	70	62	80	777
4 精神・身体症状	0	2	12	12	8	11	11	29	24	30	28	22	189
5 障害	0	0	4	4	6	4	2	0	3	0	2	3	28
6 教育一般	12	18	15	15	12	19	1	13	10	13	19	17	164
7 家庭生活	15	12	29	17	16	14	26	15	6	10	15	35	210
8 就学	0	0	9	2	1	12	0	3	14	6	3	1	51
9 いじめ	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計	279	362	502	444	293	458	586	653	556	592	647	563	5935



【年間】

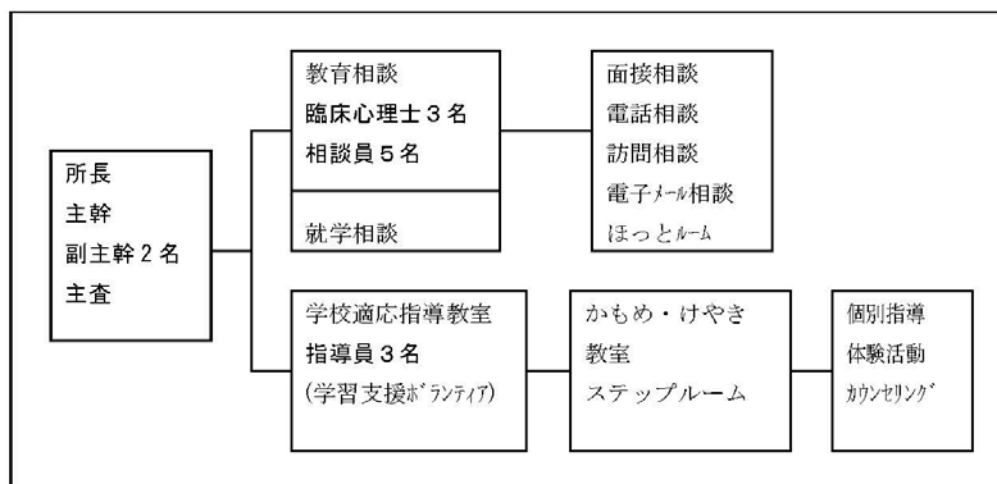
教育相談(延べ回数)

	幼	小	中	高	他	計
1 不登校	0	1052	2539	0	0	3591
2 性格・行動	0	430	781	0	2	1213
3 学習・発達	0	548	374	0	0	922
4 精神身体症状	0	0	35	0	1	36
5 障害	0	14	0	0	0	14
6 教育一般	1	9	150	0	15	175
7 家庭生活	0	54	4	0	2	60
8 就学	262	116	15	0	37	430
9 いじめ	0	36	2	0	4	42
計	263	2259	3900	0	61	6483

平成27年度 上尾市教育センター非常勤職員の配置について

名 称	人数	職務内容
教育心理専門員	3人	教育相談や就学相談の指導及び助言を行うとともに、知能及び発達に関する検査の実施・分析を行う。
教育相談員	5人	いじめ、不登校などの保護者や児童生徒の様々な相談に対して、電話や面接(来所)等による相談を行う。
学校適応指導教室 指導員	3人	不登校の児童生徒を対象に、よりよい成長と自立を促し、学校復帰を目指すための指導と援助を行う。
スクールソーシャル ワーカー	2人	問題を抱える児童等が置かれた環境への働きかけを行う。 関係機関等とのネットワークの構築、連携、調整や学校におけるチーム体制の構築支援を行う。 保護者、教職員等に対する支援相談、情報提供を行う。

<教育センターの組織>



上尾市立小・中学校の不登校児童生徒数及び不登校の割合(過去3年間)

		平成24年度	平成25年度	平成26年度
小学校	不登校数(人)	26	20	15
	割合(%)	0.21	0.16	0.12
中学校	不登校数(人)	101	116	116
	割合(%)	1.60	1.83	1.85
合計	不登校数(人)	127	136	131
	割合(%)	0.67	0.73	0.71